

地域密着型金融の推進に関する取組み状況について (平成27年度)

平成28年5月

株式会社 千葉銀行

目次

- 地域密着型金融の位置付け及び全体図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 P
- 中小企業の経営支援に関する取組み方針・態勢整備の状況・・・・・・・・ 3 P
- 中小企業の経営支援に関する取組状況
 - ◇ 東日本大震災からの復興支援への取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 P
 - ◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮・・ 5～12 P
- 地域の活性化に関する取組状況
 - ◇ 地域の面的再生への参画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13 P
 - ◇ 地方創生に資する新事業の資金調達支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 P
- その他の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15 P
- 事業性評価への取組み・経営者保証ガイドラインへの対応・・・・・・・・ 16 P

■ 地域密着型金融の位置付け及び全体図

【地域密着型金融の位置付け】

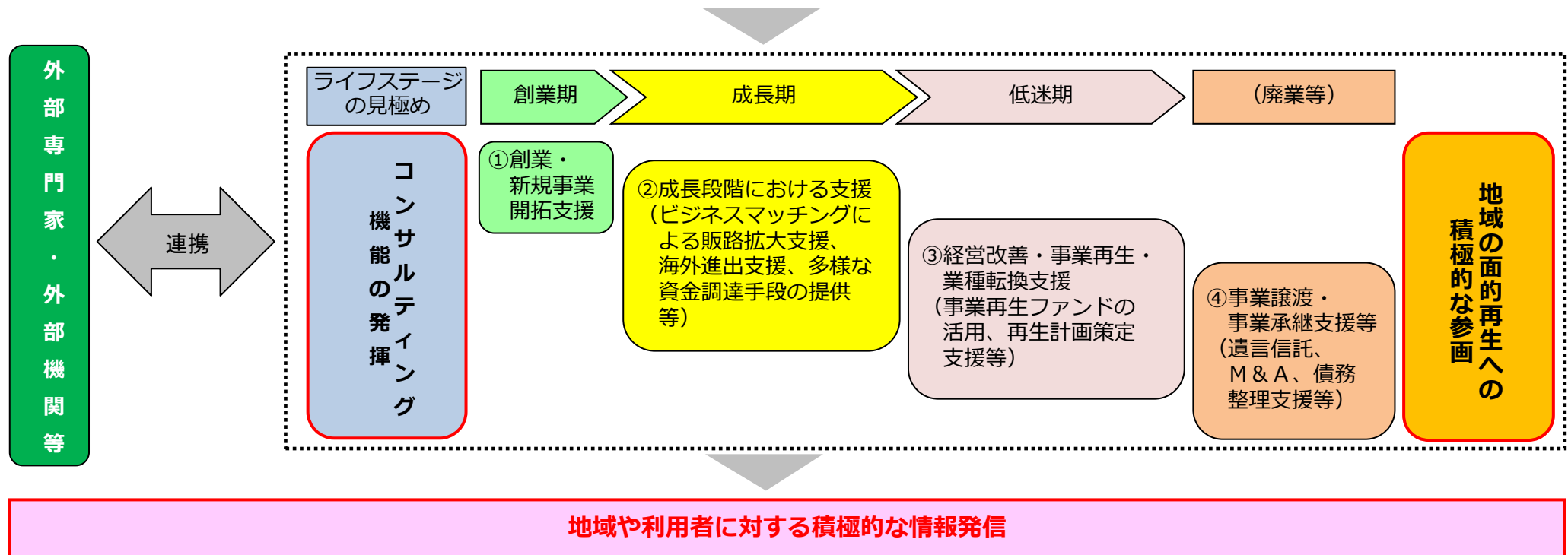
ちばぎんグループは、持続可能な地域社会の実現に向け、本業である金融仲介機能の発揮に加え、社会貢献活動や人材育成の強化により、地域社会を取り巻くさまざまな課題を解決するためのCSR活動に積極的に取り組んでいます。

地域密着型金融の取組みは、CSR活動における「本業」及び「社会貢献活動」につながる重要な活動であり、中期経営計画に掲げた各項目を着実に実践することで、組織的かつ継続的に推進しています。

【全体図】

《中期経営計画》

第12次中期経営計画「ベストバンク2020 ～価値創造の3年」では、グループ体となったコンサルティング機能の発揮により地域密着型金融を実践し、お客さまが抱えるさまざまな課題の解決をサポートするため、企業のライフサイクルに応じた積極的なソリューションの提供や地域における情報コーディネート機能の強化等に取り組んでいます。



■ 中小企業の経営支援に関する取組み方針・態勢整備の状況

【中小企業の経営支援に関する取組み方針】

当行は、地域金融機関として「金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献する」という役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮による地域密着型金融の推進については最も重要な経営課題として位置付けており、今後も各種施策をつうじてこれらを実践し、お客さまの経営支援に積極的に取り組んでまいります。

【中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況】

当行では、法人営業部内の「成長ビジネスサポート室」に、医療・介護、農業、観光、環境、国際業務など、成長分野ごとに専門人員を配置し、営業店と一体となって、創業・新規事業の開拓や海外への事業展開など、お客さまの事業の成長をサポートしております。

また、お客さまの経営改善や事業再生を積極的に支援するため、企業サポート部を中心に専門的な知識・ノウハウを有する人員を配置し、営業店への指導を強化しています。さらに、営業店や外部機関等と連携し、お客さまの経営課題や技術力、販売力といった定性的な情報を含む経営実態の十分な把握に努め、最適なソリューションの提案と、ソリューション実行後の経営相談や経営指導を継続的に実施するなど、事業改善、再生支援に向けた適切なフォロー態勢を整備しています。

なお、経営改善が必要なお客さまから新規でお借入れのご相談があった場合、新たな収益機会の獲得や中長期的な経費削減等が見込まれ、業況や財務等の改善につながると判断される場合には、適切に新規の信用供与を行うよう努めています。

※お客さまのお借入れに関するご相談を最寄りの営業店でお気軽にいただけるよう、全営業店及び出張所に「金融円滑化相談窓口」を設置しています。

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ 東日本大震災からの復興支援への取組み

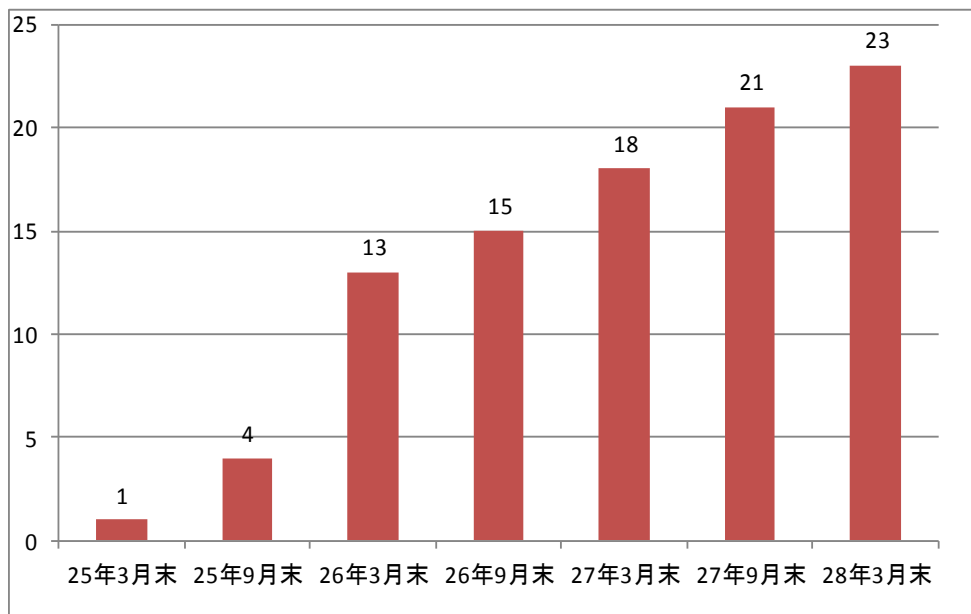
債権買取ファンドを活用した復興支援

■ 平成27年度実績

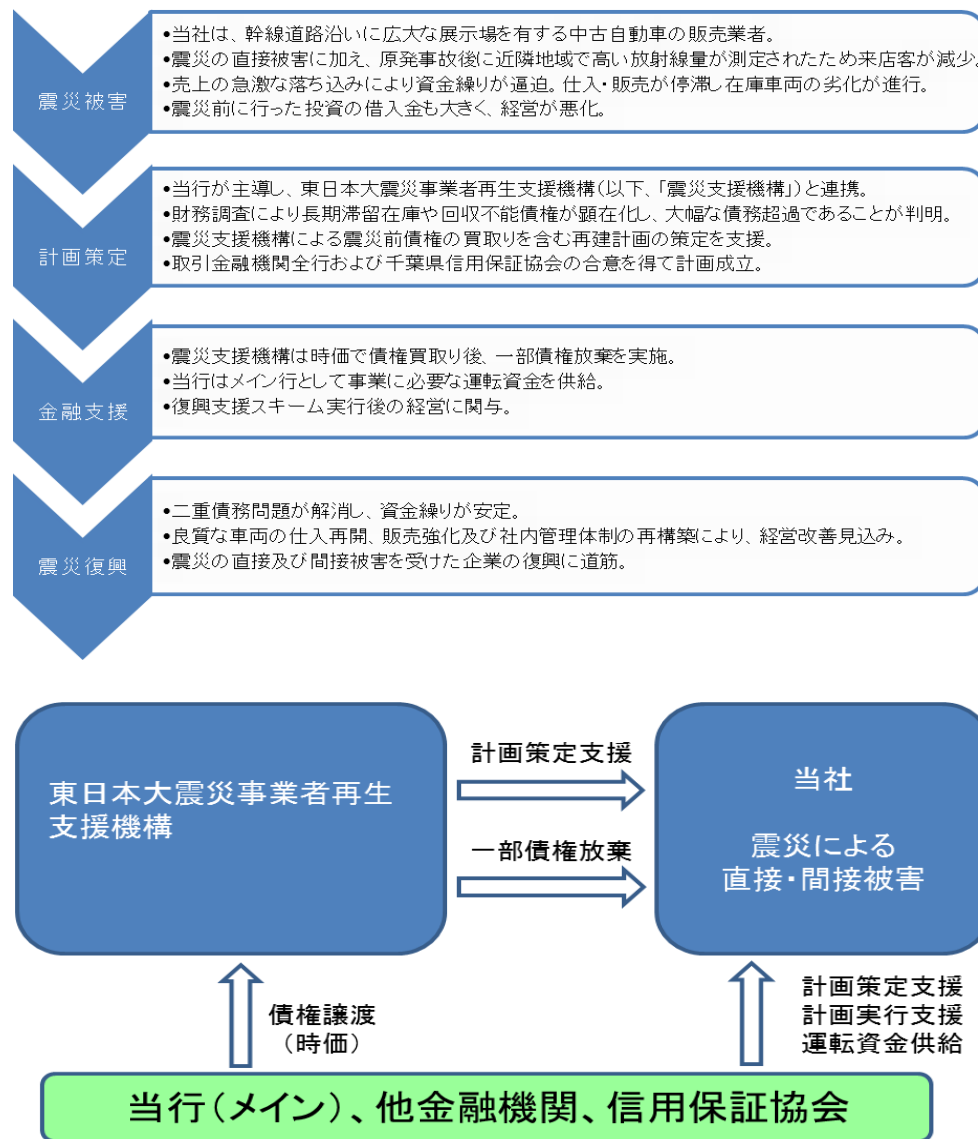
- ・ 債権買取ファンドの活用を決定した先：5先（累計23先）
（累計の内訳）
東日本大震災事業者再生支援機構：9先
千葉県および茨城県の産業復興機構：14先

- ・ 債権買取ファンドの活用に取り組中の先：5先

（ファンドを活用した復興支援先数の推移）



事例紹介（中古自動車販売会社の復興）



■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

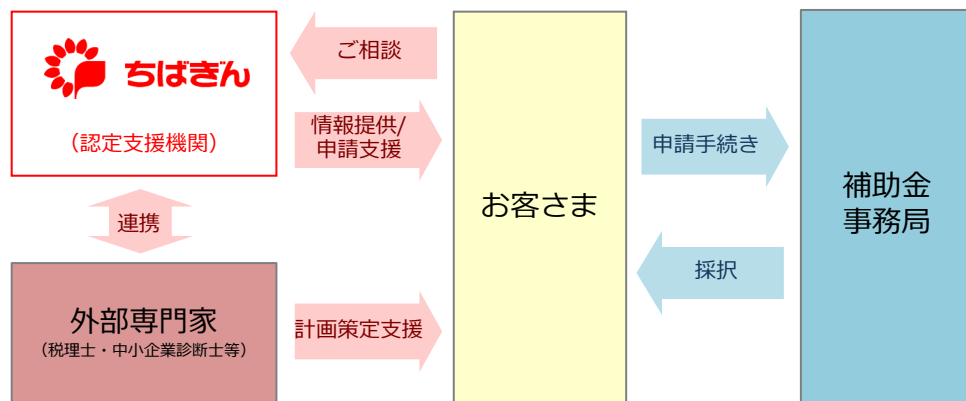
◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮 ＜創業・新規事業支援＞

補助金申請サポート

■ 平成27年度補助金支援実績

- ・ 創業補助金：33件
- ・ ものづくり補助金：133件

【補助金申請サポートのイメージ】



- ちばぎん ものづくり補助金活用セミナー
- ものづくり補助金個別相談会

◆ 「ものづくり補助金」の活用をテーマとしたセミナーおよび申請書作成のアドバイスを行う個別相談会を実施



- セミナー参加数：
105社/118名
- 個別相談会参加社数：
32社

ひまわりベンチャー育成基金

➤ 助成金の交付（年2回、1企業あたり500万円上限）

■ 平成27年度実績：8件/2,600万円

➤ インキュベーション施設入居企業への
家賃補助金交付

（年2回、1企業あたり月額5万円上限、1年間）

➤ セミナー、講演会等の開催

➤ 各種相談、指導

➤ 千葉県内の経済産業に関する調査研究、情報提供



創業支援にかかる外部機関との連携

➤ 千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会との連携

- ・ 創業者や中小企業者の金融相談等への協力を強化するため、連携協定を締結

➤ 千葉県税理士会との連携

- ・ 創業者や中小企業者に対する経営相談・計画の策定といった多面的支援を強化すべく、「業務協力に関する覚書」を締結

➤ T K C千葉会との連携

- ・ 創業者に対して、創業計画の策定支援等を行う税理士をT K C千葉会の会員の中から紹介するスキームで連携

➤ 千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫との連携

- ・ 千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫と協調融資を前提として、相互に創業者を紹介するスキームで連携

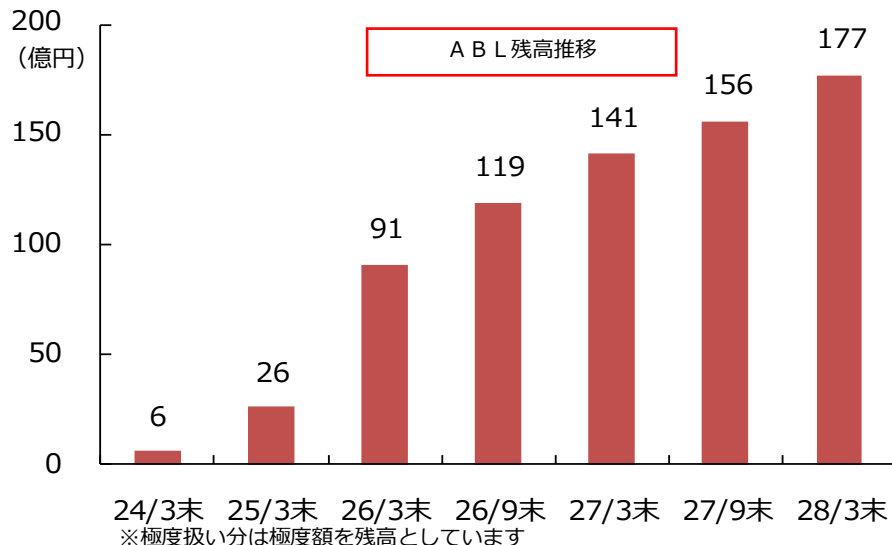
■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮 ＜事業拡大支援＞

1. 資金調達支援

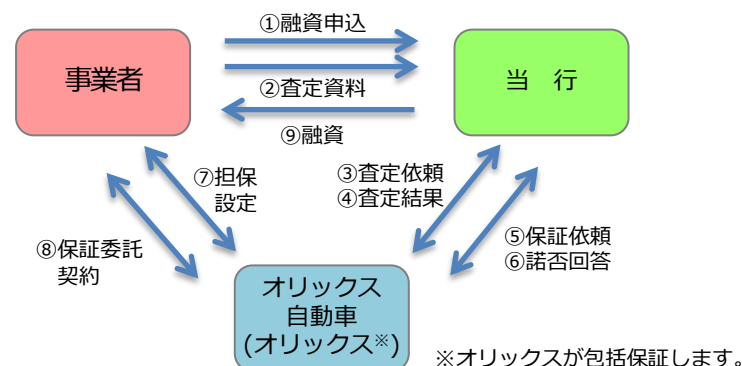
多様な資金調達手段の提供

➢ ABL（動産担保融資）の取り組み



「ちばぎん車両担保ABL制度」の取扱い開始

◆ 資金供給手段の多様化を目的として、車両に係る評価、担保設定、処分のノウハウを有するオリックス自動車株式会社と提携開始



担保・個人保証に過度に依存しない融資の提供

➢ ちばぎん知財活用融資制度の活用

■ 平成27年度実績

- ・ 融資実績：12件/378百万円
- ・ 企業特許レポート作成：18件



➢ 制度概要

株式会社三菱総合研究所の「企業特許レポート」をもとに事業者が保有する特許を評価し、財務諸表には表れない技術力や商品の強み等を融資の判断材料に加えることで、事業者の資金ニーズにお応えする、原則無担保の融資制度

➢ TSUBASA行連携知財活用ビジネス支援事業の開始（平成27年7月）

TSUBASAプロジェクト参加行（第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北國銀行）と連携し、お客さまの特許情報を共有し、地域を跨いだ事業拡大、事業創出を支援する事業を開始
※平成28年4月より、北洋銀行が参加。

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
 <事業拡大支援>

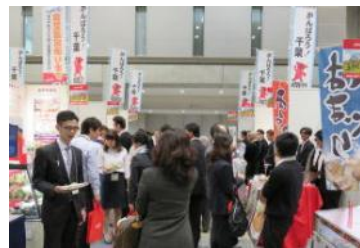
第12次中期経営計画
ベストバンク2020
 価値創造の3年

2. ビジネスマッチングによる販路拡大支援

ビジネスマッチング商談会



ちばぎんビジネスマッチング
 商談会inウランパートル



地方銀行フードセレクション



首都圏バイヤー&シェフ
 チャレンジ



ちばぎんアグリ商談会



FOODEX JAPAN

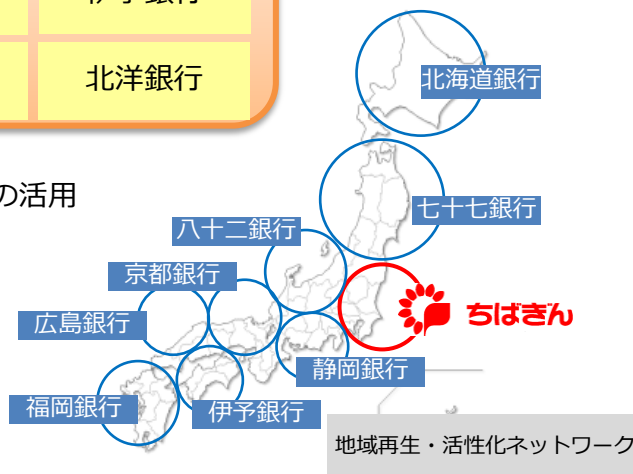
広域連携

➢ T SUBASA (翼) プロジェクト参加行との連携

T SUBASA (翼) プロジェクト			
第四銀行	中国銀行	伊予銀行	
東邦銀行	北國銀行	北洋銀行	

➢ 地域再生・活性化ネットワークの活用

地域を越えて活動する
 企業のニーズに対応



ひまわりニーズNAVI (ちばぎん総合研究所)

- ちばぎん総合研究所の会員様を対象とした無料のビジネスマッチングサービス
- 会員情報掲載先：**805先**
 (平成28年3月末現在)
- マッチング成約件数：**47件**
 (平成27年度実績)



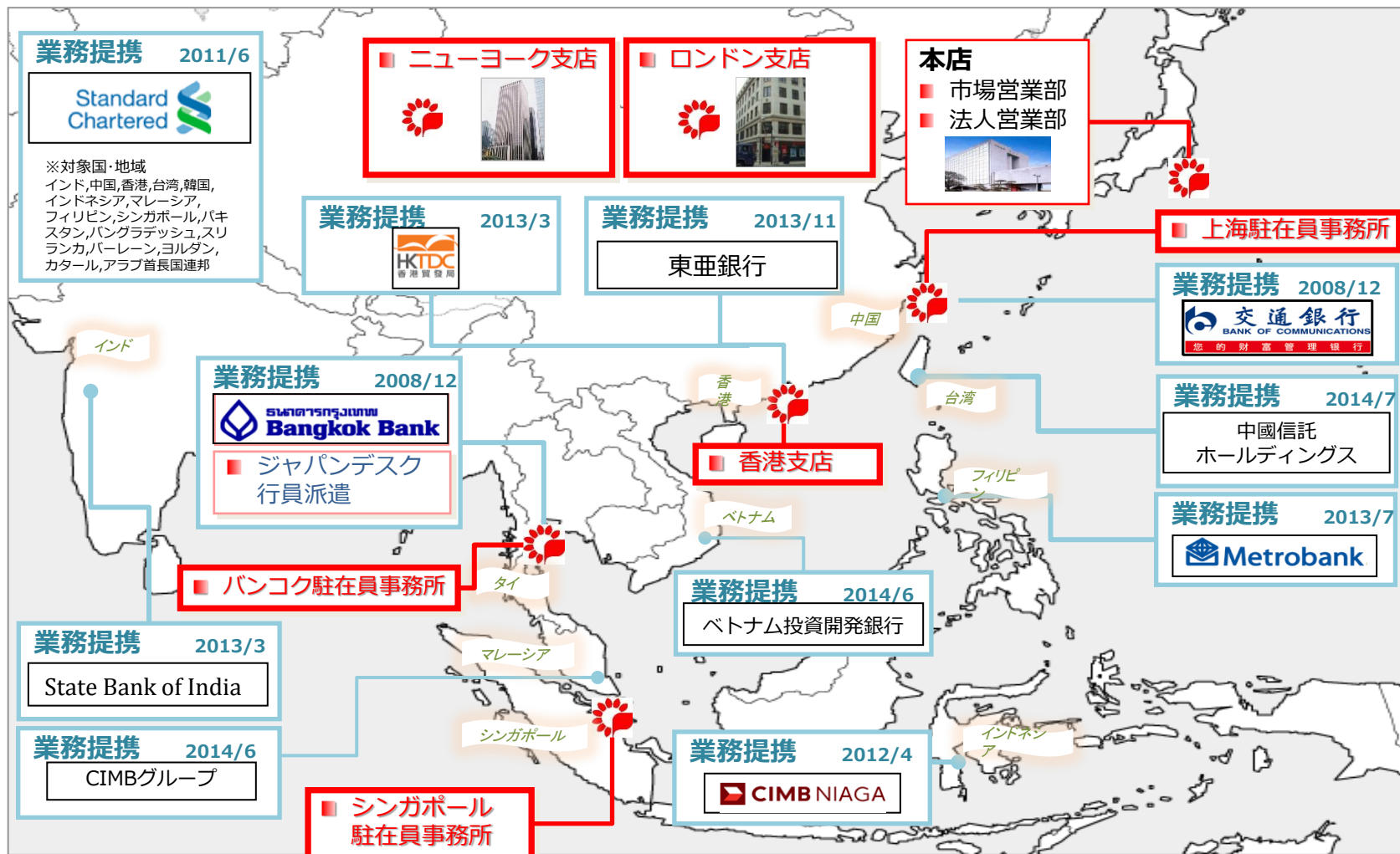
ひまわりニーズNAVI
 ホームページ

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
 <事業拡大支援>

3. 海外進出・貿易取引支援

海外ネットワークとサポートメニュー



- **海外進出支援**
 - ・ 海外の投資環境に関する情報提供
 - ・ 海外における販路開拓支援
 - ・ 海外進出先における資金調達
- **貿易取引支援**
 - ・ 海外へのご送金、海外からの送金を当行の口座で受取
 - ・ 輸入信用状の開設、輸入ユーザンス、輸出信用状通知、輸出手形・小切手の取立・買取
 - ・ 関税支払保証、入札保証、契約履行保証等
 - ・ 為替リスクヘッジ（為替予約等）

他業態・自治体等との提携	損害保険ジャパン日本興亜(株)	(独) 日本貿易保険	セコム(株)	興銀リース(株)	香港貿易發展局	New メキシコ アグアスカリエンテス州政府 ハリスコ州政府
	総合警備保障(株)	千葉県・千葉市	日本通運(株)	SGホールディングス(株)	ジェイ・ウィル・グループ°	

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮 ＜事業拡大支援＞

4. 成長分野への取組み

農業

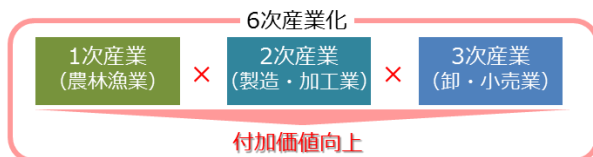
New ▶ ちばぎん農機ローン（愛称：幸運機）の活用（平成28年1月創設）

■ 平成27年度実績：**3件/4百万円**

- ・ 農業を営む個人のお客さまの農機具購入ニーズに対応した融資制度
- ・ 千葉県農業信用基金協会の保証付き融資
- ・ 事前審査を行うことにより申込みから3営業日以内に審査回答を行う点が特徴



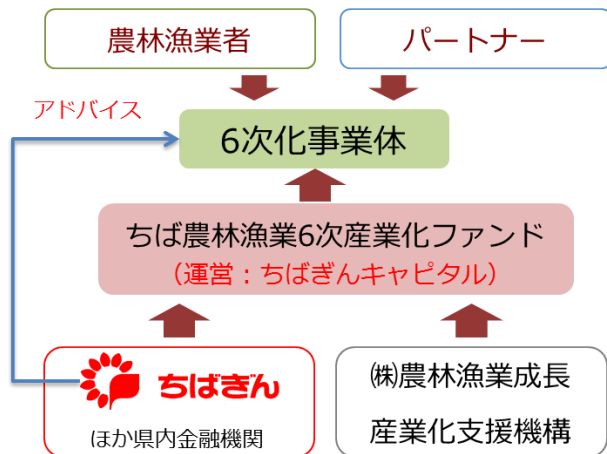
▶ ちば農林漁業6次産業化ファンドへの出資



・ 県内農林漁業の6次産業化を後押しするため、(株)農林漁業成長産業化支援機構（以下機構）と設立したファンド

・ 機構設立ファンドの全国第1号投資案件を含め、これまでに3件の6次化事業体に出資

■ 出資累計：
3件/135百万円



※ 矢印は出資の流れを表しています。

医療・介護

▶ 医療機関向けセミナー

■ 下記テーマにて**計3回**開催（平成27年度）

「病院・クリニックの建替え」（2回）

「平成28年度診療報酬改定と医療機関経営」（1回）

▶ 診療圏分析による開業支援



▶ グループ会社による支援

ちばぎん
総合研究所

・ 院内諸規定の作成・整備

ちばぎん
コンピューター
サービス

・ 電子カルテ等の導入支援

・ 人事給与、原価計算等の各種システム導入支援

ちばぎんリース

・ 医療機器等のリース

■中小企業の経営支援に関する取組状況

◇お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
 <経営改善、事業再生支援>

主要な計数

項目名		27年度実績	26年度実績 (ご参考)
正常先を除く期初債務者数	A	13,558先	14,456先
うち経営改善支援取組み先数	a	534先	519先
うち期末に債務者区分が ランクアップした先数	β	50先	38先
うち再生計画を作成した 先数	γ	465先	475先
経営改善支援取組み率	a/A	3.9%	3.5%
ランクアップ率	β/a	9.3%	7.3%
再生計画策定率	γ/a	87.0%	91.5%

外部機関との連携による経営改善支援

■平成27年度実績

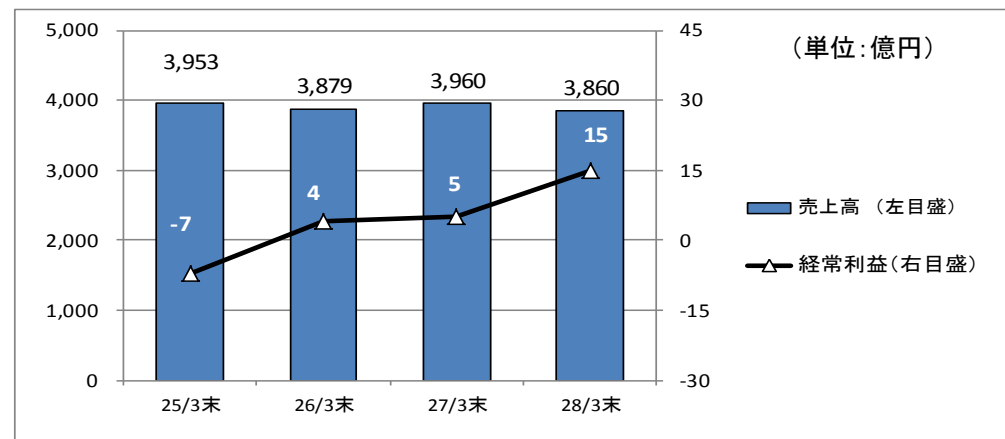
- ・中小企業再生支援協議会、千葉県産業復興相談センターへの相談実施：**41件**
- ・経営改善計画策定支援事業における認定支援機関との連携：**61件**

新たな再生手法の活用による事業再生支援

■平成27年度実績

- ・千葉中小企業再生ファンド2号の活用：**2件**
- ・第二会社方式のスキーム活用：**2件**
- ・DDSの実行：**6件/250百万円**

経営改善支援取組み先※の業績推移



※12ヶ月決算のデータを4期分登録している法人426先が対象

事例紹介 (経営改善と事業承継問題の解決)

業績悪化

- ・当社は漁業関連機械・器具の販売・修理業者。
- ・主要な顧客である漁業従事者が減少傾向を辿る中、当社の売上高も減少。
- ・借入過多による利息負担、過大な人件費、保険料支払等が利益を圧迫。
- ・大幅な債務超過に陥っており返済軽減実施。業績の改善が急務。

経営陣の高齢化

- ・前社長が、高齢を理由に経営から退いた後も代表取締役会長として在籍し、株式の過半を保有。
- ・現社長も高齢であり、事業承継とともに将来に向けた経営体制の再構築が課題。

計画策定金融支援

- ・当行が主導し、千葉県産業復興相談センターと連携し、経営改善計画の策定を支援。
- ・当行をはじめとする取引金融機関のDDSや日本政策金融公庫の資本性ローンを組み合わせた抜本的な金融支援スキームを実行。

経営改善と事業承継

- ・顧客拡大施策に取組み経常黒字が定着化、資金繰りも安定化。
- ・実質債務超過の解消、借入金水準の適正化により財務内容も良化、経営改善に道筋。
- ・経営引継ぎに向けたスケジュールが明確化し、事業承継の問題も解決。

■ 中小企業の経営支援に関する取組状況

◇ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮 <事業譲渡・事業承継支援、経営者の方のサポート>

資産承継および事業承継

- ▶ 増加する資産承継・事業承継に関する相談ニーズにお応えするため、専門部署として信託コンサルティング部を設置（平成27年10月）
- ▶ お客さまの人生に深く関わる、資産承継や事業承継の以下のようなご相談に、金融機関としての専門性を活かし、親身になって積極的に対応

資産を大切に守り育てたい.....

- 経営会社の 分割、株式交換、MBO、M&A、IPO などのご相談と実行の支援
- 不動産に関する 有効利用、買い換え などのご相談 *
- 金融資産の 信託管理、運用 のご案内

資産を円滑に承継したい.....

- 経営会社の 事業承継プラン の立案
- 将来の備えとして 遺言信託 の活用
- 遺産整理業務 を活用した相続手続きの支援

課題を解決したい、想いを実現したい.....

- 法務、税務、財務 に関するご相談 *
- 社会貢献のための 寄付、財団設立 などのご相談 *
- ご子息さまの 海外留学 などのご相談 *

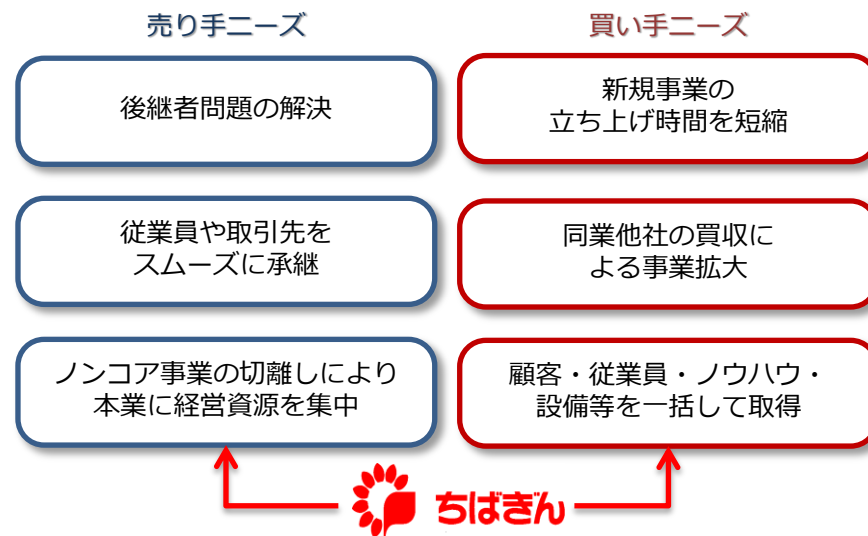


* は、千葉銀行が各専門家をご紹介するなかで対応いたします。

- 相続関連業務受託による資産承継・事業承継支援（平成27年度実績）
 サポートサービス(遺言作成・経営承継)：**377件**
 遺言信託：**320件**
 遺産整理業務：**67件**

M & A

- ▶ 経営上のさまざまなニーズの解決のためのM & A活用をサポート



- 平成27年度M & A等成約実績
 事業拡大支援（買い）：**8件***
 後継者不足等の課題解決策として事業譲渡支援（売り）：**8件***
 組織再編に係る助言業務：**2件**
 （同業者間での事業統合に係るアドバイスを両社に対し実施）
 ※上記のうち6件については売主、買主双方に関与

債務整理支援

- ▶ 保証債務の存在がネックとなり転廃業等が困難な経営者の方をサポート
- 平成27年度実績
 経営者保証に関するガイドラインに基づいた保証債務の整理 **1件**
 (株)地域経済活性化支援機構の特定支援決定 **1件**

■地域の活性化に関する取組状況

◇地域の面的再生への参画

地方創生の推進態勢

多様で幅広い関係者

県・大学・民間事業者・商工会議所
NPO法人・政府系金融等

自治体

総合戦略各施策
への支援等

連携

協働

取引先企業

事業内容の適切な把握、
課題解決策の提案・実行



ちばぎん グループ

本部

営業店

ちばぎん総研 他
グループ会社

地方創生部会

部会長 営業本部長
主管部 地方創生部

「まち・ひと・しごと創生
総合戦略」への対応事項に
関する目標設定、施策の
立案・実施

事業性評価部会

部会長 営業本部長
主管部 法人営業部

取引先企業の事業性評価に
基づく融資や助言等に関す
る事項の目標設定、施策の
立案・実施

報告

指示

報告

指示

地方創生・地域活性化委員会

(委員長 頭取 副委員長 副頭取)

地方創生への取組み

連携協定

自治体

千葉市、君津市、南房総市、館山市、鴨川市、鋸南町
勝浦市、いすみ市、銚子市、旭市、富津市、柏市
白井市、匝瑳市、御宿町、茂原市

自治
以外

千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会
千葉県税理士会、木更津工業高等専門学校
(株)地域経済活性化支援機構 (REVIC)

関連商品

- 広域ちば地域活性化ファンド
- ちばぎん地方創生融資制度
- ひまわりベンチャー育成基金

セミナー

- 地方創生セミナー
- 地方創生ICTカンファス
- 移住・定住セミナー

広域連携促進事例

観光用レンタサイクルの寄贈

南房総地域 観光連携

館山市

鴨川市

南房総市

鋸南町



■地域の活性化に関する取組状況

◇地方創生に資する新事業の資金調達支援

広域ちば地域活性化ファンド

平成27年10月設立

New ▶ 総額：5億円

- ▶ 共同GP：ちばぎんキャピタル・REVICキャピタル
- ▶ 千葉県が有する産業基盤や観光資源、人材といった地域の特性と従来の常識や慣習にとらわれない斬新な発想とを融合した新しい事業モデルを育てていくことを目的

■ 平成27年度実績：1社

投資候補例

- ✓ 地域を結ぶ広域的な周遊ルートの開発
- ✓ 既存施設を宿泊施設や情報発信拠点として利活用するプラン
- ✓ エネルギーの地産地消に向けた検討 など



【事例】地方創生を実現するためのファンドの活用事例

お客さま 〈宿泊所等運営〉

- ・ ①解体予定であった公共音楽施設をダンス等の合宿所として利活用する事業 ②公営の女子寮を外国人向け宿泊施設として利活用する事業を計画
- ・ ファンドによる投資+融資により、計画に必要な資金を調達



- ・ 本件は、地域雇用拡大や宿泊等の入込客増加による経済効果も期待できることから、地域活性化に資する取組みと判断し、「広域ちば地域活性化ファンド」の活用を提案

多様な資金調達手段の提供により、新事業にかかる資金調達をサポートするとともに、外部専門家(REVIC)を活用したハンズオン支援を実施

ちばぎん地方創生融資制度

平成27年11月創設

New ▶ 千葉県または千葉県に隣接する地域において、創業または新規事業を行う事業者を対象

■ 平成27年度実績：2社/318百万円

ポイント

- ✓ 事業計画に基づき、融資条件を設定することが可能（安定した利益が計上できるようになるまで、最長で3年間の元金据置期間を設定することができます）
- ✓ 融資実行後、計画と実績が大きく乖離した場合において、その要因分析や計画見直し等のハンズオン支援を実施

【事例】地域活性化に資する新事業の資金調達支援

お客さま 〈農業生産法人〉

- ・ 耕作放棄地等を集約して大規模農業を営む計画を検討
- ・ 事業を開始するまで準備期間が必要であることが課題
- ・ 3年間返済据置（融資期間計23年間）での資金調達を実現



- ・ 本計画は、地域の高齢農家の雇用創出にも繋がる可能性があることから、地域活性化につながるものと判断し、「ちばぎん地方創生融資制度」の活用を提案

柔軟な返済計画を設定できる融資制度の活用により、地域活性化に資する新事業の開始をサポート

■ その他の取組み

ちばぎん・学生版ビジネスアイデアコンテスト

- 地域経済の将来の担い手となる学生の起業を支援
- 地域の産業および経済の発展に寄与

■ 表彰実績

平成27年度は過去最多56件の応募から**4組**を表彰

■ 平成24年度からの累計

表彰：**15組**

うち起業したグループ：**4組**



ちばぎん研究開発助成制度

～新たな事業活動を進める企業と大学との連携をサポートいたします～

ちばぎん・研究開発助成制度 2015

共同で研究を行います。千葉大学または千葉工業大学と

◆ 助成金額
助成上限：100万円
助成率：研究費の4/5まで
助成対象期間：2年以内

◆ 応募資格 下記①②③全ての条件を満たされる方
① 当行営業エリア内（千葉県及び茨城県、茨城県、埼玉県の一部）に事業所をおく中小企業または個人事業主
② 千葉大学または千葉工業大学の研究成果等と、自らが持つ技術・経営戦略などをマッチングし、早期に事業・商品化させることを目指している
③ 企業と大学にて共同研究（受託研究）の契約を結んでいる、もしくは契約締結を予定している
※くわしくは、当行ホームページの募集要項をご確認ください

◆ お申込み方法
■ 所定の申込書に必要事項をご記入の上、捺印書類とともに、下記担当宛に書留郵便にてご送付ください。
■ 申込書は、千葉銀行のホームページよりプリントアウトまたは下記担当までご購入ください。

<お問い合わせ・お申込み先>
千葉銀行 法人営業部 成長ビジネスサポート室 情報担当
〒260-8720 千葉県中央区千歳1-2 電話 043-301-8295
電子メール jyoho@chibabank.co.jp
ホームページ http://www.chibabank.co.jp/

- 千葉大学または千葉工業大学と共同で行う研究開発に対して助成

- ・助成上限：100万円
- ・助成率：研究費の4/5まで
- ・助成対象期間：2年以内

■ 平成27年度助成実績：

5社/500万円

■ 平成25年度からの助成累計

21社/2,312万円

P F I

- 地域社会発展に貢献するための手法の1つとして、千葉県内等のPFI事業に積極的に関与

公共セクター様向け

- 構想（計画策定）段階から事業実施段階におけるアドバイス等
 - ・PFI事業に関する情報の提供や勉強会の実施等
 - ・官民のリスク分担やファイナンスに関わる諸条件に関するアドバイス等
 - ・ちばぎん総研によるコンサルティングの実施

民間事業者様向け

- ファイナンシャル・アドバイザー
 - ・入札前の段階から資金調達面についてアドバイス
- アレンジャー
 - ・融資団を組成し、事業資金をご融資
- エージェント
 - ・事業開始後の資金管理、契約条件の履行状況のチェック

■ 平成27年度融資実績：**1件/1,350百万円**

海外派遣事業（ちばぎんみらい財団）

- 中小企業の従業員を海外研修に派遣

「海外派遣事業」

千葉県経済の将来を担う人材の育成を目指し、成長著しいアジア諸国等への視察派遣団員を中小企業の従業員の中から募集し、助成金を交付



■ 事業性評価への取組み・経営者保証ガイドラインへの対応

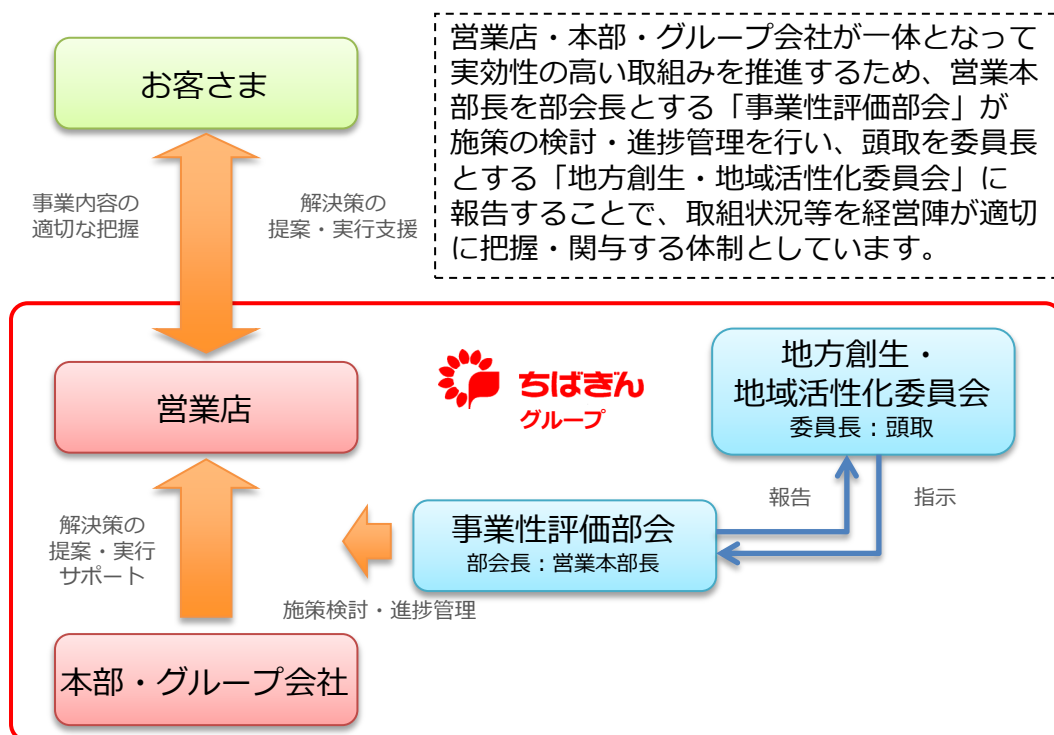
事業性評価及びそれに基づく解決策の提案・実行支援

【基本的な考え方】

当行は、地域経済の担い手である取引先企業の事業の内容や成長可能性等を評価（事業性評価）し、経営課題に対する適切な解決策を提案・実行支援していく取組みをつうじて、地域経済の持続的成長と地方創生に貢献してまいります。

これを実現するため、深度ある対話をつうじて取引先企業のニーズを具体的に把握し、当行グループが一体となって、経営課題の解決に資する融資やコンサルティングが提供できるよう、人材の育成や態勢の整備に努めています。

【推進体制】



経営者保証に関するガイドラインへの対応

- ◆ 経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおり、新規に無保証で融資した件数は3,758件、A B Lを活用し無保証で融資した件数は9件となっております。
- ◆ 既存の保証契約の見直しについても、ガイドラインに基づき真摯かつ誠実に対応しており、保証契約を変更した件数は125件、保証契約を解除した件数は199件となっております。
- ◆ 個人保証債務を整理する場合においても、ガイドラインに基づき真摯かつ誠実に対応しており、保証債務整理の成立件数は2件となっております。

■ 平成27年度実績

項目	件数
① 新規に無保証で融資した件数	3,758件
② 経営者保証の代替的な融資手法を活用し、無保証で融資した件数	9件
③ 保証契約を変更した件数	125件
④ 保証契約を解除した件数	199件
⑤ ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	2件

※1 上記の件数は中小企業者に対する取組件数です。

※2 ①は経営者保証の代替的な融資手法を活用し、無保証で融資した件数を除きます。

※3 ②はA B L等の経営者保証の代替的な手法を活用し、無保証で融資した件数です。